

様式第二号の八（第八条の四の五関係）
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 30 日	
奈良県知事 殿	
提出者	
住 所 奈良県吉野郡大淀町馬佐817	
氏 名 株式会社 山食 代表取締役社長 山口敦史	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0746-32-1135	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 山食
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町馬佐817
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	売上額 49億5937万円
③ 従業員数	214人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(排水処理) 汚泥 → 再生利用業者に委託し、動植物性残渣と混合し有機肥料の原料として再資源化する。 燃え殻 → 最終処分業者に委託し、埋立処分する。 動植物性残渣 → 再生利用業者に委託し、動植物性残渣と混合し有機肥料の原料として再資源化する。 廃プラスチック類 → 最終処分業者に委託し、埋立処分する。 廃油 → 最終処分業者に委託し、油水分離。 金属くず → 最終処分業者に委託し溶融。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役社長

↓

工場長

↓

環境管理部

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
排出量	13.33 t	2.8 t
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
排出量	993.2 t	562.18 t
産業廃棄物の種類	廃油	金属くず [※]
排出量	0.72 t	0.086 t

(これまでに実施した取組)

再生利用業者に委託し、有機肥料の原料として全量再資源化に取り組む。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
排出量	10 t	0 t
産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
排出量	500 t	300 t
産業廃棄物の種類	廃油	金属くず [※]
排出量	0 t	0 t

(今後実施する予定の取組)

引き続き、再生利用業者に委託し、有機肥料の原料及び再資源化に取り組む。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

汚泥・燃え殻・動植物性残渣はそれぞれ分別し、保管している。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

特に無し。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	13.33 t	2.8 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	13.33 t	2.8 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	全 処 理 委 託 量	993.2 t	562.18 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	39.98 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	993.2 t	522.2 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	金属くず
	全 処 理 委 託 量	0.72 t	0.086 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0.72 t	0.086 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	〈燃え殻〉最終処分業者に委託し、埋立処分する。		
	〈廃プラスチック類〉最終処分業者に委託し、埋立処分する。		
	〈汚泥・動植物性残渣〉再生利用業者に委託し、有機肥料の原料として再資源化に取り組む。		
	〈廃油〉最終処分業者に委託し、油水分離。		
	〈金属くず〉最終処分業者に委託し溶融。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全処理委託量	10 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣
	全処理委託量	500 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	500 t	300 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃油	金属くず
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	余剰汚泥の脱水後の水分含有量の低減を目指し、有機肥料の原料としての効率化を図る。		
※事務処理欄			